

質 問 及 び 回 答 書

業務名		契約方法	一般
下水処理場脱水汚泥収集運搬処分業務委託 (R 9. 2～R 1 0. 3 再資源化その2)			
No.	質 問 事 項	回 答	
1	下水汚泥のサンプルをいただくことは可能か。 また可能な場合のいただける時期はいつ頃か。 (R8.9.18 質問)	公告文 12「入札参加申請」に記載のとおり申請した者に限り、現地確認の際、サンプルを必要最低限の量採泥していただくことは可能です。 なお、採泥は脱水機の稼働日となることから、公告文 16「現場説明（現地確認）」に記載のとおり希望する日時等を連絡し、日程調整を行ってください。 (R8.9.25 回答)	
2	天災及びトラブル等で運搬及び処分手配が不可となった場合、状況回復まで引取停止することは可能か。またその際契約不履行とならないか。 (R8.9.18 質問)	下水汚泥の発生を停止することはできないため、不可です。大雨、台風、重大事故等については下水処理場脱水汚泥収集運搬業務委託（R9.2～10.3 再資源化その2）仕様書第 12 条のとおりに対応してください。これに反した場合は、契約不履行となります。ただし、地震等の大規模災害時には、別途協議とします。 (R8.9.25 回答)	
3	汚泥発生量について季節ごとの数量変動の傾向があるか。ある場合は概ねの発生量の比率を確認したい。 (R8.9.18 質問)	汚泥発生量は、季節だけではなく汚水流入量等にもよるため、季節だけに起因する変動量はお示しできません。 (R8.9.25 回答)	
4	1 回当たりの下水汚泥発生量平均値を確認したい。 (R8.9.18 質問)	1 回当たりの下水汚泥発生量の平均値は、香東川浄化センターは 17.9t、東部下水処理場は 35t です。 (R8.9.25 回答)	
5	回収日程の決め方について確認したい。 発注者希望日か受注者希望日か双方で調整の上決定か。またどのタイミングで日程を決定するか。 (R8.9.18 質問)	発注者希望日です。 また、下水処理場脱水汚泥収集運搬業務委託（R9.2～10.3 再資源化その2）仕様書第 18 条に記載している 1 日当たりの数量について、追加がある場合は運搬日の 3 日前までに、搬出がない場合は運搬日の前日までに通知するものとし、受注者の都合による変更は認められません。 (R8.9.25 回答)	
6	車両トラブル等で回収車両が変更となるケースにおいて、変更車両の積載可能量に応じた排出量調整は可能か。 (R8.9.18 質問)	香東川浄化センターにおいては、ホッパ 1 基あたりの容量は 9t であり、排出途中で止めることはできないため、9t 以下の調整は不可です。東部下水処理場においては、可能ですが、ホッパの開閉操作を手動で行うため、微調整は困難です。 (R8.9.25 回答)	